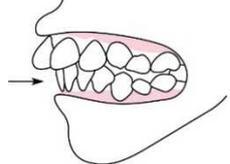
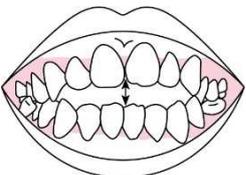


## 歯科健康診断結果『<sup>しれつ こうごう</sup>歯列・咬合』についてのお知らせ

<sup>しれつ こうごう</sup>歯列・咬合とは、歯並びやかみ合わせのことです。「食べ物を取り込み、食べる機能」「表情をつくり、話す機能」及び「運動を支え、体のバランスをとる機能」等に直接かかわっており、食生活のみでなく生活の質全体に関係しております。

<sup>しれつ こうごう</sup>歯列・咬合の不正は、子供の成長発育段階により、<sup>か</sup>噛む・話す・呼吸する・体のバランスをとるなどの発達に影響が見られる場合があります、学校での学習にも影響がでる場合があります。

<p>かがくぜんとつ 下顎前突</p> 	<p>上下の前歯のかみ合わせが前後逆になる「<sup>はんたいこうごう</sup>反対咬合」、上の前歯が前方に出ている「<sup>じょうがくぜんとつ</sup>上顎前突」は成長発育不全（<sup>じょうがくはついくふぜん</sup>上顎発育不全・<sup>かがくはついくふぜん</sup>下顎発育不全）を起こしやすくなります。また発育の状況により、<sup>ししゅうびょう</sup>歯周病やむし歯のみでなく、<sup>えんげ</sup>嚥下（飲み込み）の時に舌を突き出す癖や<sup>くせ こうきゅう</sup>口呼吸に関連することもあります。</p>
<p>じょうがくぜんとつ 上顎前突</p> 	<p>かみ合わせたときに前歯に上下の隙間ができる「<sup>かいこう</sup>開咬」の場合は発音（<sup>こうおん</sup>構音）に問題がおき、サ行やタ行が発音しにくいなどの障害が起こる場合があります。原因が指しゃぶりなどの癖の場合、癖の中止や早い時点でくちびるの訓練を行うことにより、改善がみられる場合があります。</p>
<p>かい こう 開咬</p> 	<p>かみ合わせたときに前歯に上下の隙間ができる「<sup>かいこう</sup>開咬」の場合は発音（<sup>こうおん</sup>構音）に問題がおき、サ行やタ行が発音しにくいなどの障害が起こる場合があります。原因が指しゃぶりなどの癖の場合、癖の中止や早い時点でくちびるの訓練を行うことにより、改善がみられる場合があります。</p>
<p>そう せい 叢生</p> 	<p><sup>そうせい</sup>叢生は歯と歯が重なり合っていたり、歯並びがデコボコ（ガタガタ）している状態で、放置していると歯の清掃が困難なため、むし歯や<sup>ししゅうびょう</sup>歯周病になるリスクが高くなる場合があります。</p>
<p>しすういじょう 歯数異常</p>	<p>本来生えてくるべき歯数と異なる「<sup>しすういじょう</sup>歯数異常」は、<sup>せんてんせいけつそん</sup>先天性欠損や埋<sup>まい</sup>伏<sup>ふくし</sup>歯、<sup>かじょうし</sup>過剰歯がある場合が多く、手術による治療が必要なことがあり、その後<sup>きょうせいしよち</sup>に矯正処置が必要な場合があります。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>その他に「<sup>かがいこうごう</sup>過蓋咬合」「<sup>こうさこうごう</sup>交差咬合」「<sup>はさみじょうこうごう</sup>鋏状咬合」「前歯1～2本だけが<sup>はんたいこうごう</sup>反対咬合（<sup>ぎやくひがい</sup>逆被蓋）」などがあります。</p>

これらの症状については、お子様の発達段階や個々の症状の程度により、必要となる対応が異なります。それぞれの状況について確認、相談したい場合は、受診前に歯科医院にご連絡ください。

なお、<sup>し かきょうせい</sup>歯科矯正治療は、<sup>ほけんてきょうがい</sup>保険適用外（一部を除き）です。治療方法や治療期間、費用等について歯科医院で十分に説明を受けたいうえで治療をご検討ください。